

宮崎市郡医師会病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。いつでも本研究への参加を拒否することが可能です。

研究課題名 (研究番号)	虚血性僧帽弁閉鎖不全症に対する外科的治療効果予測因子としての右心機能の意義の解明
当院の研究責任者 (所属)	矢野 光洋 心臓血管外科
他の研究機関および 各施設の研究責任者	宮崎大学医学部外科講座心臓血管外科学分野 古川 貢之
本研究の目的	本研究は本院心臓血管外科と宮崎大学医学部心臓血管外科で行われた左室駆出率40%未満の低左心機能に伴う心筋梗塞後虚血性僧帽弁逆流症に対する僧帽弁手術の治療成績を検証し、術前右心機能の早期および遠隔期成績に及ぼす影響を検討し、その治療効果予測因子としての意義を明らかにすることを目的にします。
調査データ 該当期間	宮崎市郡医師会病院心臓血管外科（および宮崎大学医学部付属病院心臓血管外科）で2010年1月から2020年12月の間に左室既出率40%の心筋梗塞後虚血性僧帽弁逆流症に対して僧帽弁手術を受けられた方が対象となります。
研究の方法 (使用する試料等)	<p>本研究は、宮崎大学医学部外科学講座心臓血管外科学分野を主たる研究機関として実施する多施設共同研究であり、以下の研究体制で実施する。</p> <p>【実施責任者】 古川 貢之 宮崎大学医学部外科講座心臓血管外科学分野・教授</p> <p>【共同研究機関】 宮崎市郡医師会病院（心臓血管外科科長： 矢野 光洋）</p> <p>【研究事務局】 宮崎大学医学部外科講座 心臓血管外科学分野 TEL0985-85-2291（内線）2217</p> <p>対象となる方のカルテ情報から、年齢・性別・既往歴等の基礎データ、採血・心臓カテーテル検査・右心機能評価を含めた心臓超音波検査等の検査結果、術中所見と用いた手術補助手段の内容のデータ、術後と退院後の臨床データを利用して頂き、これらの情報をもとに手術死亡回避率、術後生存率などを算出し、術後心臓死の危険因子を解析します。</p> <p>この研究は、倫理委員会承認後から2023年3月まで行われます。</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	カルテ情報は匿名化された情報として、加工された情報を主たる研究機関に提供します。
個人情報の取り扱い	研究にあたっては、対象となる方の個人情報情報を容易に同定できないように、数字や記号などに置き換え、「匿名化された試料・情報（どの研究対象者の試料・情報であるかが直ちに判別できないよう、加工又は管理されたものに限る）」として使用いたします。
本研究の資金源 (利益相反)	この研究に関する経費は、宮崎大学医学部2021年度臨床研究支援経費で賄われます。また2022年度以降の経費は実施責任者が所属する診療科の研究費で賄われます。なお、本研究の実施責任者と分担研究者は本研究に関わる企業および団体等からの経済的な利益の提供は受けていないため、利益相反はありません。
お問い合わせ先	宮崎市郡医師会病院心臓血管外科

	<p>科長 矢野光洋 電話：0985-77-9101 FAX：0985-77-9110</p> <p>宮崎大学医学部附属病院心臓血管外科 准教授 古川貢之 電話：0985-85-2291 FAX：0985-85-5563</p>
備考	